



2学期がスタートしました

例年より長い夏休みが終わり、大きく成長できる2学期が始まりました。ふり返ると、1学期の終業式の中で、勉強、部活を始め、健康で、有意義な休みにしましょうという話をしました。頑張った生徒には頑張った分、必ず2学期以降に成果として表れます。頑張れなかった生徒は、夏休みの分をこれからの日々の中で取り返し、成長の糧にしていきましょう。

さて、今日から中身の濃い2学期が始まりました。学園祭、強歩大会、新人大会をはじめたくさんの行事が待っています。生徒会最大行事の炎翼祭では、クラスの団結、学年の団結、全校生徒の団結など、取り組みは厳しく辛いこともたくさんあると思いますが、こういう行事からいろんなことを学んでほしいと思います。そして行事を通して改めて自分の学級が一番、自分の学年が一番、自分の学校が一番という塩中魂の意識を持って頑張ってもらいたいと思います。そして学園祭が終わると3年生はいよいよ進路実現に向けて、本格的に取り組んでいかなければなりません。また、1・2年生は新人戦、そしてその後は3年生にかわり、学校をリードしていく立場となります。ぜひ、この2学期も目標をもって生活してほしいと思います。本気で熱くなって頑張っていきましょう。

学園祭「炎翼祭」について

生徒会最大行事である第52回塩山中学校学園祭（炎翼祭）が9月9日（土）、10日（日）に開催されます。炎翼祭のスローガン『HERO』のもと、功刀生徒会長を中心とした生徒会役員がリーダーシップを発揮すると同時に、一人ひとりがHERO=主人公という意識をもつことで、生徒自身が主体となり、お互いに協調することが大切です。みんなのために力を結集し、全ての活動にベストを尽くしましょう。

県総体、関東・全国大会、各種大会、コンクール等の結果

7月下旬から、県中学校総合体育大会、各種コンクール、関東大会等が開催されました。どのチーム、どの選手も最後まであきらめない姿や、「さわやかなあいさつ」や「マナーの良い塩中」を見せてくれました。また、関東大会、全国大会に出場した選手は山梨県の代表として必死にがんばる姿やベストを尽くし、本気でプレーする姿がありました。試合や発表以外でも他県の方々から挨拶や態度についてお褒めの言葉をいただきました。結果は次の通りです。

●県総体

- ◇ハンド男子 優勝（関東大会出場）
- ◇ハンド女子 優勝（関東大会出場）
- ◇柔道 個人男子73kg級 第3位 池田 壮介
個人女子 第3位 武藤 花笑来
- ◇陸上 1年男子1500m 第1位 田邊 瑛都
2年男子砲丸投 第2位 阿部 勇信
共通男子1500m 第3位 武藤 瑛太（関東大会出場）
共通女子走幅跳 第3位 奥村 望叶（関東・全国大会出場）

●県吹奏楽コンクール 中学生部門Bの部 金賞

●県マーチングコンテスト 西関東大会出場

●関東大会

- ◇ハンドボール男子 1回戦 対 府中三（東京） 31-29 勝利
準々決勝 対 若松（千葉） 31-22 勝利
準決勝 対 麻生（茨城） 25-31 惜敗 第3位（全国大会出場）
- ◇ハンドボール女子 1回戦 対 けやき台（茨城） 17-26 惜敗
- ◇陸上 共通男子1500m予選 第12位 武藤 瑛太
共通女子走幅跳決勝 第20位 奥村 望叶

●全国大会

- ◇陸上 共通女子走幅跳決勝 第26位 奥村 望叶
- ◇ハンドボール男子 1回戦 対 永平寺ブルーサンダー（福井） 26-23 勝利
2回戦 対 大分（大分） 22-32 惜敗



※裏面もご覧ください…

全国学力学習状況調査(4月18日 3年生実施) 結果の概要についてのお知らせ・・・

* 4月18日に行われた全国学力学習状況調査の結果(3年生実施)について概要をお知らせします。また甲州市教育委員会から配布される<家庭用資料>令和5年度全国学力学習状況調査結果のお知らせのプリントも参考にしてください。

○ 教科に関する調査について

本校の結果について国語は全国平均より5ポイント上回っており、数学は全国平均±2ポイント範囲にあり、ほぼ全国標準並といえます。英語については、全国標準より約3ポイント下回っていました。

① 国語では・・・

書くこと、読むこと、話すこと、など全国平均より非常に高いレベルにあります。授業で取り組んでいることを中心にやってきたことを継続して学習していくことが大事です。課題としては、文脈に即して漢字を正しく書くことができること、観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができること、などが課題です。朝読書を大切にし、さらに読書量を増やしたり、わからない言葉や漢字が出てきたとき辞書やタブレットを活用する習慣をつけたりすることを心がけることが大切です。

② 数学では・・・

「関数」については高い数値を示しています。「図形」「データの活用」に課題が見られます。ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること、条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ること、空間における平面を理解することなど事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明したり、筋道を立ててじっくり考え、事柄が成り立つ理由を説明したり、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することが大切です。

③ 英語では・・・

「読むこと」については高い数値を示しています。授業中の音読や英語での発表の効果が現れています。「聞くこと」「話すこと」の領域に課題が見られます。情報を正確に聞き取ること、文章の要点を捉えること、言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くこと、日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことが大切です。

○ 生徒の質問紙調査の結果について

数学・国語への関心・規範意識・自己有用感・生活習慣・学習習慣・地域への関わりなど、ほとんどの項目で、良い方に全国を大きく上回る結果となっています。

課題としてあげられることは、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりの読書時間」の数値が全国平均を下回っています。朝読書だけではなく、読書量を増やすことが読解力の向上につながります。また、英語は大切だと思っても、「英語の勉強を好きですか」という質問への答えは、全国に比べ低くなっています。「好きこそものの上手なれ」ということわざがありますが、英語を好きになることが、学力向上の鍵になります。まずはコミュニケーションのツールと捉えて取り組んでみましょう。

○ 本校の実践について

本校では「自ら学び、確かな学力を身につける生徒」をめざして、全校で取り組んでいます。

①「Web Q-Uを活用した集団づくり」の手立てとして・・・

学習規律の確立、Web Q-Uの分析と活用、話し合いのルールの確立・ルールとリレーションの育成等の実践を行っています。

②「学力向上に関する取り組み」として・・・

CRT、全国学力学習状況調査、県学力把握調査、定期テスト、復習確認テスト、リーディングスキルテストの分析を踏まえた授業改善を行っています。特に授業の構造化をはかり、わかる授業づくりに努めています。またICT端末を活用しての双方向での学習活動についてさらに充実させ、実施していきたいと考えます。また、ステップアップノート（家庭学習ノート）やステップアップテストを実施しています。年々、ステップアップノートの内容も充実してきており、参考ノートは教室や廊下に掲示されています。有効な学習方法として、「その日にあった授業内容をノートにまとめ直したり、問題を解いたりする」というものがあります。学んだことをその日のうちに再度復習することで、記憶への定着が確かなものになります。（エビングハウス忘却曲線）さらに、それを誰かに説明するとアウトプット効果も生じ理解が確かなものになります。ノートを作成した後、家族に説明するなどの習慣を形成してください。子どもだけの孤独な学習ではなく、家族でも応援するという意味あいからも、是非、実践してみてください。